

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	23976000061
事業所名	グループホーム「ポプラ」

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 自治会に加入している。自治会、包括等と地域防災活動を開始し、学区集会所で防災会議を実施。地域防災活動を翌月に開催する事となった。災害時にホームが避難受け入れ施設に認定されており、地域貢献に努めている。地域住民とは定期的に通う認知症カフェで交流を深めたり、日常の散歩等で挨拶を交わす関係を継続し、地域住民の一員として根付いている。介護相談の看板を掲げ、随時問い合わせに適切なアドバイスや相談に乗っている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 運営推進会議は年6回開催し、コロナ感染対策で開催を文書での照会で行う他、状況をみて対面での会議が開催された。区長、コミュニティー代表、包括支援センター職員、市高齢福祉課職員、家族で構成し、運営状況の報告、地域情報共有、意見交換の場として活用されている。会議内容は、職員全体へ回覧、玄関先に掲載し来訪家族へ周知して取り組みへの理解を深めている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 市高齢福祉課へは、更新手続きや事故報告書提出等で直接窓口に出向き、密に相談できる関係性を築いている。担当者から受け入れの相談にも随時応じて相互に協働関係を深めている。市や包括支援センター主催の研修の案内が郵送で届き、積極的に参加をしており、職員育成等の運営の繁栄にも役立っている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 意見箱の設置があり、利用者や家族の要望を受け止める体制を整えている。毎月「ポプラ新聞」を発行し、利用者個別にメッセージカードに日常の様子を詳細に伝え、家族の安心や信頼関係構築に努めている。また、些細な変化があれば随時電話で詳細を伝え、必要に応じ支援に反映している。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	○
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価									○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○	◎								